

一般社団法人日本セカンドライフ協会
令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日~令和8年3月31日)

令和7年度事業報告

令和7年度の事業報告は以下の通りです。

1. 活動概況

イベントの実施件数、参加者数とも前年度を下回り、イベント収益ベースでは前期比1%減となりましたが、イベント粗利ベースでは前期比22%増となりました。これは基本参加費を300円増額したことによるものです。

一方、コロナ禍発生前の対令和元年度比では、イベント収益ベースでは67%、イベント粗利ベースでは73%にとどまっています。

この結果、当期正味財産は648万円の赤字決算となりました。

この要因としては、受取会費の減少、イベント収益の伸び悩み、機関誌売り上げの減少、事業費3の増加などによるものです。

2. 組織運営

(1) 登録企業会員の状況

令和7年度開始時点で、会員数48会員でスタートしました。

期中の入会はゼロ、退会が6会員あり、年度末では42会員となっております。

(2) 企画者の状況

当協会のイベントは、企業会員出身の運営委員の方々を中心に行われております。

令和7年度末における地区別人数は以下の通りで、合計人数は前年度末比15名の減少となりました。

運営委員	(前年度)
東北地区運営委員	1名 (1名)
関東地区運営委員	49名 (53名)
中部地区運営委員	8名 (9名)
関西地区運営委員	31名 (41名)
合計	89名 (104名)

3. 事業活動

(1) イベント事業

イベント事業におけるイベント催行数は、前期比3%減の1,592件(60件減)となり、イベント参加者数は、前期比13%減の13,731名(2,144名減)となりました。

しかし、イベント粗利率は前期比3,5ポイント増の18,1%となり、コロナ禍前の水準をも1,4ポイント上回りました。

(2) 機関誌事業

年4回発行の機関誌「JASSネット」の発行部数は前期比7%減で、26,500部(2,100部減)となりました。

これは友の会々員の減少、企業会員所属会員の個人購読者の減少などによるものです。

(3) 業務運営

・8年度事業計画の早期策定

事業計画はこれまで、当該年度の5月の理事会で審議してきましたが、8年3月に臨時理事会を開催し、8年度事業計画を策定しました。これにより事業活動の早期立ち上げが可能となりました。また、課題解決のため複数のPTを早期に立ち上げ、上半期までに結論を出すこととしました。

・広報対策の強化

昨年一新したホームページにYouTubeを掲載し、JASSの活動を多くの方々にWeb上で告知できるようになりました。ホームページからのイベント申込は60%を超える状況になりました。

・会員増加策

友達紹介キャンペーンを実施し、22名の個人会員が入会しました。

・参加者増加策

コロナ禍以降の参加者の減少は延べ1万人となり、この対策として同業他社との連携の検討を開始しました。

また、大手ゼネコン経営のシニアハウスへの働きかけを開始しました。

・イベント企画方法の多角化として「事業主制」を採用し、大型イベントの開催を可能にしました。

4. 理事会、総会の開催状況

- ・令和7年5月27日に令和7年度第1回通常理事会を、令和7年6月12日に通常総会を開催し、令和6年度事業報告、令和6年度収支決算報告、令和7年度事業計画、令和7年度予算、及び役員選任について審議し、いずれも承認されました。
また、令和6年度公益目的支出計画実施報告を説明し承認されました。
さらに代表理事及び業務執行理事として理事長及び専務理事から令和6年12月から令和7年5月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

- ・令和7年12月15日に令和7年度第2回通常理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事として理事長及び専務理事から令和7年5月から12月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。
- ・令和8年3月10日に臨時理事会を開催し、令和8年度事業計画、令和8年度予算について審議し、いずれも承認されました。

以上